

海上の棚田 周辺マップ

海上棚田米

海上の棚田で作った海上棚田米。平成25年秋より発売される。



ゆうきの里・さんさん

有機農業の盛んな里にあるコミュニケーション施設。ログハウス風の宿泊棟があるほか、民俗資料館で研修などの受け入れを行っている。また、体験交流施設では、そば打ち、ゆべしなどの加工体験ができる。



海上みはらし展望台 **New!**

平成25年9月、地区を一望できる太鼓岩周辺に展望台を整備した。太鼓岩内部には、足踏みすると太鼓のように響く不思議な洞窟がある。



棚田の水仙ロード

美しい棚田の景観を保全するため、地区の環境美化活動として、町道沿いに水仙の植え付けを行っている。



海上の棚田

棚田 20 選の標柱



「やまがたの棚田20選」とは

棚田の魅力を再認識するとともに、付加価値のある資源として磨き上げ、次世代へと継承していく取組みとして、平成20年2月「やまがたの棚田20選」を設定。

棚田の素晴らしさやそれを守る地域の活動を内外に発信し、地域活動の輪を広げる活動を応援している。

平成26年度には、山形県を会場に、「全国棚田サミット」が開催される。

慈覚大師(円仁)が仏のような奇岩が連なるこの地に坊をかまえ、その後1年間過ごして山寺に移ったことに由来する。奇岩をめくりながら登山道を20分ほど登り山頂に至ると、四方が眺望でき海上の棚田を眼下に見ることができる。



山頂より棚田を見下ろす



至 米沢市街

至 高島町中心部

はなまるのトンネル

全景

水^み
土^ど
里^り
ウオーク

かいしょう
海上の棚田
澄んだ空気ときれいな山水



四季折々の景色を楽しむ

米沢市街から県道米沢高畠線を北進し、米沢市と高畠町との行政界付近より東に向かう。そこから小高い山を越えると海上集落が姿を現す。両側になだらかな棚田が広がり、時間の流れがゆるやかに感じられる場所である。

春にはスイセンロードに黄色の水仙が花開き、棚田の緑がまぶしい夏を向かえ、そして黄金色の秋が過ぎると、真っ白な雪に覆われた冬が訪れる。

四季折々の景色が楽しめる海上棚田はその美しさと集落の保全活動が認められ「やまがたの棚田20選」に選ばれている。海上集落では、この美しい棚田で栽培したお米を「海上棚田米」として販売し、海上の魅力を外に発信している。



海上集落代表の黒さん(左)と職場体験研修で棚田の取材と編集の協力をしてくれた米沢商業高校の本田さん(右)